

講演

「旅するウナギ」

— 謎とロマンの絶滅危惧種 —

黒木 真理

東京大学大学院農学生命科学研究科助教



うみ・みらい・いのち

海の学び舎

高校生向けレクチャー&カフェ

第2回 2014年9月21日(日)

高校生 30名 事前募集(参加費 300円・入園料無料)

高校生向けの講座「海の学び舎」を、昨年に続き2014年も開催します。第一線で活躍する研究者やフィールドで活躍するナチュラリストが、海や川の環境やそこにくらす生き物のおもしろさ、またそれらを探求し、研究することの楽しさを紹介します。

前半で講師のお話、後半でお茶を飲みながら参加者も交えた談話会を予定しています。

東京都葛西臨海水族園

海の学び舎

高校生向けレクチャー&カフェ

第2回 2014年9月21日(日)

| 13:30-16:00 | 高校生30名 事前募集 | 参加費300円 |

*飲み物、お茶菓子などの実費分
*入園料は無料です

講演 「旅するウナギ」 — 謎とロマンの絶滅危惧種 —

講師：黒木 真理(東京大学大学院農学生命科学研究科助教)

2009年5月、世界で初めてウナギの卵がマリアナ西方海域で発見されました。これで東アジアに分布するニホンウナギが生涯数千キロもの旅をしていることが科学的に証明されました。謎に包まれたウナギの生態は解明されつつあります。

一方、日本では「うなぎ登り」や「うなぎの寝床」などの慣用句や浮世絵、落語にもウナギにまつわる文化を見いだすことができます。またポリネシアの島々では巨大ウナギと美少女の恋物語が語り継がれていたりします。これらはウナギが食料として長く利用されてきた身近な存在であることの証です。

しかし今、その資源は40年前に比べて約10分の1にまで減少してしまいました。そしてついに今年6月、ニホンウナギは国際自然保護連合(IUCN)のレッドリストに絶滅危惧種として記載され、社会問題にもなっています。ウナギをめぐる科学と文化のホットな話題を紹介します。



【黒木 真理プロフィール】

1979年、鹿児島県生まれ。東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。博士(農学)。東京大学総合研究博物館助教を経て、現在は東京大学大学院農学生命科学研究科助教。専門は魚類生態学。ウナギ、アユ、サクラマスなど回遊魚の生態を研究。

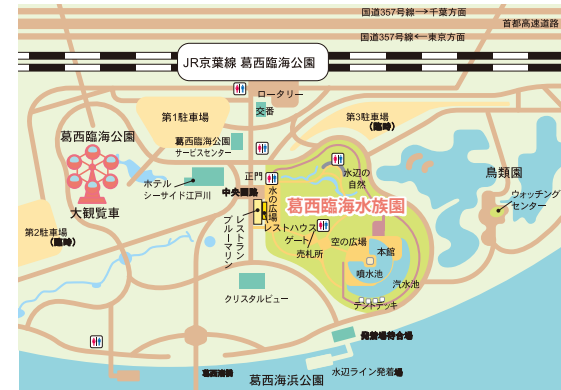
主な著書に『旅するウナギー1億年の時空をこえて』(東海大学出版会・共著)、『ウナギの博物誌ー謎多き生物の生態から文化まで』(化学同人・編著)、『日本うなぎ検定クイズで学ぶ、ウナギの教科書』(小学館・共著)、『うなぎのうーちゃん だいぼうけん』(福音館書店・文)など。

応募方法 往復はがきまたはHPの応募フォームに、希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・氏名・電話番号を明記し、お申し込みください。

■往復はがき 9月12日(金)消印有効
あて先：〒134-8587 江戸川区臨海町6-2-3 葛西臨海水族園「海の学び舎2」係
※返信面に代表者の住所・氏名を必ずご記入ください。

■応募フォーム 9月12日(金)送信分まで有効
<https://www.tokyo-zoo.net/event/manabiya2014/kasai/>
※お申し込みの際は、@gmail.com および @tzps.or.jp からのメールを受信できるように、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください(特に携帯電話からお申し込みの方はご注意ください)。

「海の学び舎」は第3回目を11月16日(日)に開催する予定です。
*詳しくは後日、公式HP(<http://www.tokyo-zoo.net/>)でお知らせ致します。



東京都葛西臨海水族園 Tokyo Sea Life Park

【開園時間】 午前9時30分～午後5時(入園は4時まで)
【休園日】 毎週水曜日(祝日や都民の日にあたるときは翌日)
【入園料】 一般700円 65歳以上350円 中学生250円
*小学生以下および都内在住、在学の中学生は無料
【お問合せ】 東京都江戸川区臨海町6-2-3 TEL:03-3869-5152
<http://www.tokyo-zoo.net/>

公益財団法人東京動物園協会 動物取扱登録番号12 東京都展第001489号
平成19年5月29日～平成29年5月28日 動物取扱責任者氏名:錦織一臣、杉野隆、山本達也